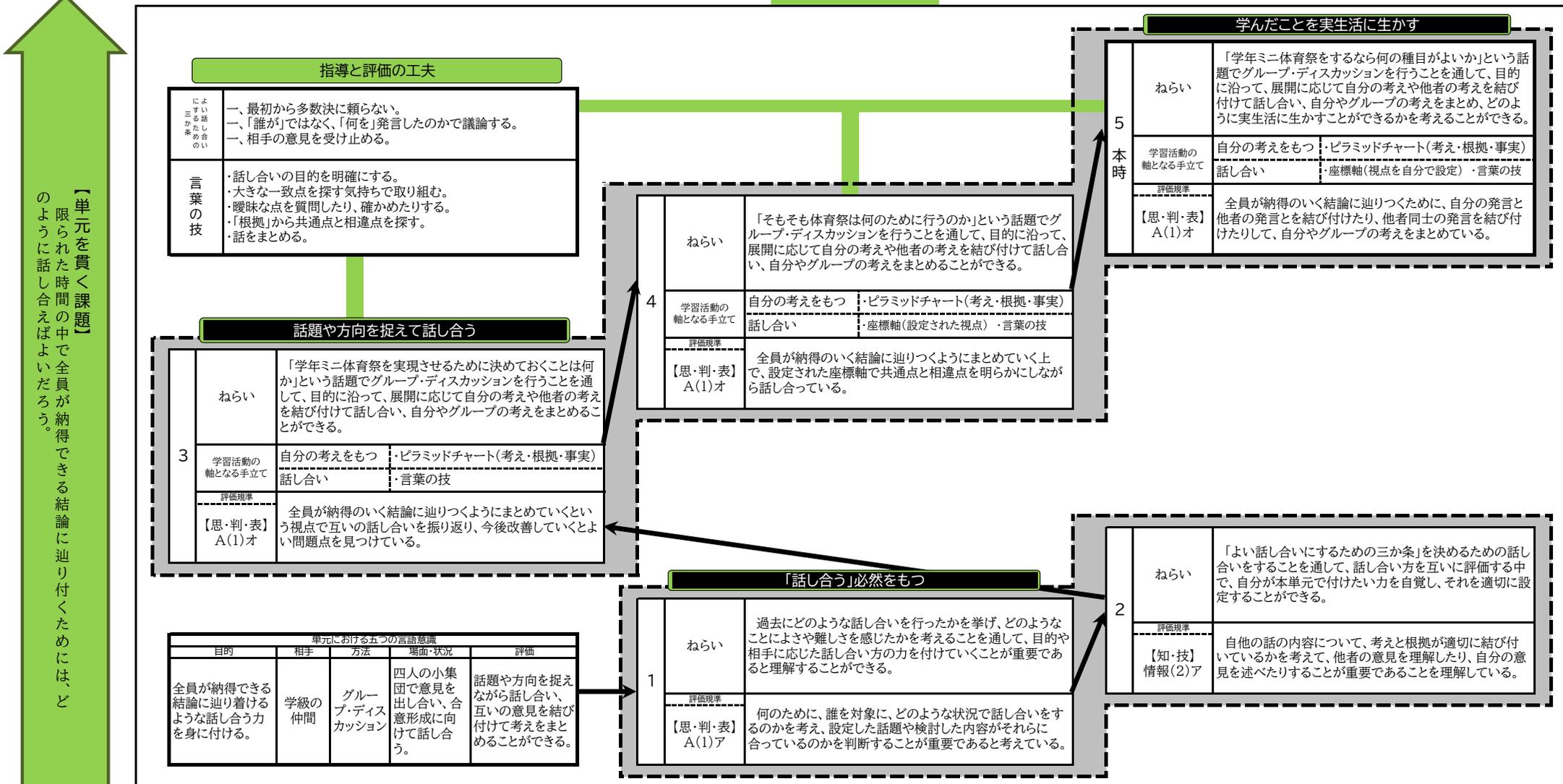


五、単元構想図

単元名	論点を捉える	知識・技能	情報(2)	ア	「三角ロジック」を用いて、考えと根拠が適切に結び付いているかを考えながら話したり、聞いたりすることができる。
教材名	話題や方向を捉えて話し合う グループ・ディスカッションをする	思考力、判断力、表現力等	A(1)	話すこと・聞くこと	異なる考えを比較し、曖昧な点について質問したり確かめたりしながら互いの考えを結び付けて、自分やグループの考えをまとめることができる。
指導領域・時間	A(話すこと・聞くこと) 合計5時間	学びに向かう力、人間性等			話し合う力を自覚して使いながら話し合いの質を向上させ、実生活で話し合いを効果的に取り入れようとする。

今後身に付けていく本単元に関わる力	
(中)第2学年	A(1)オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。

学習後の生徒の意識
 朝学活・夕学活の班会議や学活のときに生かせよう。朝学活・夕学活は時間が短いけれど、話し合いたいことはたくさんある。この単元で身に付けた力を生かして、短時間でも内容の濃い話し合いができれば、班や学級がよくなると思う。学級のことだけではなく、他の教科や委員会のときにも使えるかもしれない。もし、そのような機会があったら提案していきたい。



学習前の生徒の意識
 目的に向かって司会を立て、立場を明らかにして共通点や相違点を考えながら話し合う経験はある。しかし、意見を出し合うことはできても、それぞれの意見を結び付けてまとめていくことには苦手意識があり、話し合った全員が納得いく結論を出せたという時間はあまりない。どのようにすれば全員が納得できる結論にたどり着くことができるだろう。

これまで身に付けてきた本単元に関わる力	
(小)第5学年及び第6学年	A(1)オ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。
(小)第3学年及び第4学年	A(1)オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。